

東北地方太平洋沖地震への原子力発電所の対応

1. 地震直後の原子力発電所への影響

(1) 東京電力(株)福島第一原子力発電所

1～3号機:地震により自動停止(1号機:46万kW、2～3号機:78.4万kW)

4～6号機:定期検査のため停止中(4～5号機:78.4万kW、6号機:110万kW)

(2) 東京電力(株)福島第二原子力発電所

1～4号機:地震により自動停止(1～4号機:110万kW)

(3) 東北電力(株)女川原子力発電所

1～3号機:地震により自動停止(1号機:52.4万kW、2～3号機:82.5万kW)

(加速度:567.5ガル)

(4) 東北電力(株)東通原子力発電所

1号機:定期検査のため停止中(1号機:110万kW)

(加速度:17ガル)

(5) 日本原子力発電(株)東海第二原子力発電所

地震により自動停止(110万kW)

2. 地震後の原子力発電所の対応(時刻等;出典「官邸及び東電プレス情報」)

(1) 東京電力(株)福島第一原子力発電所

3月11日(金)

14:46 福島第一原子力発電所1～3号機は、地震発生により自動停止。

15:42 原子力災害特別措置法第10条報告事象と判断(1F1～3号機)

(外部電源の喪失後、非常用DGが自動起動したが故障により全交流電源が喪失状態のため)

15:45 オイルタンクが津波により流出(官邸情報)

16:36 原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(1F1、2号機)

(1、2号機の注水流量の確認ができないため、念のため(非常用炉心冷却装置注入不能)に該当すると判断)

19:03 緊急事態宣言

(1F1、2号機の水位が確認できないことから、原子炉冷却水の喪失が発生しているとみなして緊急事態宣言)

20:50 福島県対策本部:福島第一原子力発電所の半径2kmの住人に避難指示をだした。(2km以内の住人は1864人)

21:23 国:原子力災害特別措置法第15条第3項により、福島第一原子力発電所の半径3km圏内の住人に対する避難指示。半径10km圏内の住人に対する屋内退避指示。

3月12日(土)

- 00:49 福島第一原子力発電所1号機原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断
(「格納容器圧力異常上昇」に該当と判断)
- 05:44 総理が、福島第一原子力発電所の10Km圏内に対する避難指示。
- 06:50 保安院が、原子炉等規制法第64条第3項の規定に基づき、福島第一原子力発電所1号機および2号機の原子炉格納容器内の圧力抑制を命じた
- 15:36 福島第一原子力発電所1号機水素爆発発生
(1号機の原子炉建屋最上階部分の外壁が喪失)
- 16:17 福島第一原子力発電所の放射線量の値が制限値(500 μ Sv/h)を超えたため15条報告事象と判断(MP4付近)
- 18:25 総理が、福島第一原子力発電所から半径20km圏内の住人に対する避難指示
- 20:05 保安院が、原子炉等規制法第64条第3項の規定に基づき、福島第一原子力発電所1号機の海水注入等を命じた。
- 20:20 福島第一原子力発電所1号機の海水およびホウ酸注入を開始

3月13日(日)

- 05:10 原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(1F3号機)
(3号機の全注水機能を喪失(非常用炉心冷却装置注入不能)のため)
- 08:56 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(MP4)
(発電所境界の放射線量が制限値(500 μ Sv/h)を超えたため)
- 09:08 福島第一原子力発電所3号機の圧力抑制および真水注入を開始
- 09:20 福島第一原子力発電所3号機のベントを成功
(ベント弁の操作を行い、8時41分に圧力を降下させる措置を完了)
- 09:25 福島第一原子力発電所3号機のホウ酸注入を開始
- 09:30 総理が、原子力災害特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示
- 13:12 福島第一原子力発電所3号機の注水を真水から海水に切り替え
- 14:15 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(MP4)
(発電所境界の放射線量が制限値(500 μ Sv/h)を超えたため)

3月14日(月)

- 01:10 福島第一原子力発電所1号機および3号機の海水注入を停止
- 03:20 福島第一原子力発電所3号機圧力容器の注水を再度継続
- 03:50 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(MP6付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 04:15 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(MP2付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 06:10 福島第一原子力発電所3号機ドライウエル圧力460KPa(設計上の最高使用圧力:427KPa)程度まで上昇
- 06:50 福島第一原子力発電所3号機格納容器圧力が530KPaまで上昇

- 07:44 福島第一原子力発電所 3号機原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断
(格納容器圧力異常のため)
- 09:05 福島第一原子力発電所 3号機格納容器圧力は緩やかに低下し 490KPa
- 09:27 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(MP3)
(発電所境界の放射線量が制限値(500 μ Sv/h)を超えたため)
- 09:37 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所
正門付近)(敷地境界放射線量上昇が発生したため)
- 11:01 福島第一原子力発電所 3号機爆発発生
- 13:25 福島第一原子力発電所 2号機原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断
(原子炉冷却機能喪失したため)
- 18:22 福島第一原子力発電所 2号機原子炉水位-3700mm に到達。燃料全体露出と判
断

3月15日(火)

- 06:10 福島第一原子力発電所 2号機圧力抑制室付近で異音が発生し、同室内圧力が
低下、同室で何らかの異常が発生
- 06:14 福島第一原子力発電所 4号機音がして壁に穴が開いた
福島第一原子力発電所 3号機煙が出ている
- 06:51 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所
正門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 06:56 福島第一原子力発電所 4号機建屋の上が変形した模様
- 08:11 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所
正門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 08:25 福島第一原子力発電所 2号機建屋 5階付近から白い煙を確認
- 09:38 福島第一原子力発電所 4号機原子炉建屋 3階北西付近より火災発生を確認し、
消防へ通報
- 10:01 福島第一原子力発電所 4号機の消火について経済産業省から米軍に依頼
- 10:22 福島第一原子力発電所 2号機と 3号機の間で 30mSV/h、3号機周辺 400 mSV/h
4号機周辺 100 mSV/h
- 10:59 福島第一原子力発電所オフサイトセンターに対し、退避命令発出
- 11:26 福島第一原子力発電所オフサイトセンター、福島県庁に退避完了
- 12:29 福島第一原子力発電所4号機の鎮火を確認(中に入れないので外から確認)
- 16:17 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所
正門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 23:05 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所
正門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)

3月16日(水)

- 5:45 福島第一原子力発電所 4号機原子炉建屋 3階北西付近より火災発生を確認
- 6:20 福島第一原子力発電所 4号機火災を東電から地域消防に通報

7:26 福島第一原子力発電所 4号機火災につき、自然鎮火したものと推定

8:34 福島第一原子力発電所 3号機、白煙が大きく噴出

11:14 福島第一原子力発電所 3号機白煙はプールからの蒸発量が多いものと推定

3月17日(木)

9:48 福島第一原子力発電所 3号機陸自ヘリによる放水(4回)実施(～10:00)

19:05 福島第一原子力発電所 3号機警察放水車による放水(1回)実施(～19:22)

19:35 福島第一原子力発電所 3号機自衛隊消防車による放水(5回)実施(～20:09)
(放水前後の放射線量(3,630 3,586 μ Sv/h))

3月18日(金)

10:00 使用済燃料共用プールの満水(温度:55 $^{\circ}$ C)確認。また、乾式キャスク建屋の外観目視点検の実施結果、異常なし

13:30 福島第一原子力発電所 5号機屋上孔開け作業終了

14:00頃 福島第一原子力発電所 3号機自衛隊消防車による放水(7回)実施(～14:38)

14:42 福島第一原子力発電所 3号機米軍高圧放水車を使用した東電による放水(1回)実施(～14:45)

17:00 福島第一原子力発電所 6号機屋上孔開け作業終了

17:50 福島第一、第二原子力発電所事故について原子力安全・保安院がINES(国際原子力・放射線事象評価尺度)の暫定評価結果発表

- ・ 1,2,3号機:評価レベル5(広範囲な影響を伴う事故)
- ・ 4号機 :評価レベル3(重大な異常事象)

3月19日(土)

00:30 福島第一原子力発電所 3号機緊急消防援助隊消防車による連続放水実施(～00:50)

05:00 福島第一原子力発電所 5号機 RHR ポンプ(C)運転再開による使用済み燃料プール冷却開始

07:42 福島第一原子力発電所 6号機非常用ディーゼル発電機2台運転可能になり、5,6号機で非常用ディーゼル発電機による電源を確保

08:58 原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(発電所西門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)

09:15 福島第一原子力発電所 5,6号機原子炉建屋屋根部に水素ガス滞留防止穴あけ(3箇所)完了

14:05 福島第一原子力発電所 3号機緊急消防援助隊消防車による連続放水実施(～20日03:40)放水前後の放射線量(3,417 2,758 μ Sv/h)

18:30 福島第一原子力発電所 5号機使用済燃料プール温度低下
68.8 $^{\circ}$ C(19日06:00) \Rightarrow 48.1 $^{\circ}$ C(18:00)

22:14 福島第一原子力発電所 6号機 RHR ポンプ(C)運転再開による使用済み燃料プール冷却開始

3月20日(日)

- 03:00 福島第一原子力発電所 6号機使用済燃料プール温度低下
67.5°C(19日 23:00)⇒52.0°C(03:00)
- 08:00 福島第一原子力発電所 3号機炉内温度が三百数十度、炉圧が高くなっている(原子炉の通常運転中:280~290°C)
- 08:20 福島第一原子力発電所 4号機自衛隊消防車(10台)による放水(約 81トン)実施
(~09:29)
- 14:30 福島第一原子力発電所 5号機冷温停止状態(炉水 100°C未満)
- 15:08 福島第一原子力発電所 2号機東電消防車による注水(約 40トン)実施(~17:20)
- 18:22 福島第一原子力発電所 4号機自衛隊消防車(10台)による放水(約 81トン)実施
(~19:43)
- 19:27 福島第一原子力発電所 6号機冷温停止状態(炉水 100°C未満)
- 21:30 福島第一原子力発電所 3号機緊急消防援助隊消防車による連続放水(約 1,137
トン)実施(~21日 03:58)

3月21日(月)

- 06:37 福島第一原子力発電所 4号機自衛隊消防車(12台)、東電米軍高圧放水車による放水(13回、計約 91トン)実施(~08:41)
放水前後の放射線量(2,319 2,126 μ Sv/h)
- 10:37 使用済燃料共用プールに東電消防車による注水(約 130トン)実施(~15:30)
- 14:30 福島第一原子力発電所 1~4号機放水口付近(南側)における海水サンプリング
核種分析の結果、放射線核種が検出された
- 15:55 福島第一原子力発電所 3号機やや灰色ががった煙が噴出(調査中)
- 16:49 福島第一原子力発電所 3号機煙量に変更なし、灰色から白色に変化
- 18:02 福島第一原子力発電所 3号機煙の鎮静化を確認
- 18:22 福島第一原子力発電所 2号機建屋屋上屋根部から白いもや状の煙が噴出(調査
中)

3月22日(火)

- 14:10 福島第一原子力発電所 3号機緊急消防援助隊消防車による連続放水(約 150ト
ン)実施(~16:00)
- 16:19 福島第一原子力発電所 2号機東京電力消防車による注水(約 18トン)実施
(~17:01)注水前後の使用済燃料プール温度(53 51°C)
- 17:17 福島第一原子力発電所 4号機東京電力コンクリートポンプ車による放水
(150トン)実施(~20:32)
- 19:41 福島第一原子力発電所 5, 6号機外部電源に切替完了
- 22:46 福島第一原子力発電所 3号機中央操作室照明点灯

3月23日(水)

- 02:33 福島第一原子力発電所 1号機原子炉圧力容器注水ラインに「給水ライン」追加
(消火系ラインを用いた注水継続)

- 09:00 福島第一原子力発電所 1号機原子炉圧力容器注水ラインを「給水ライン」のみに切替(消火系ライン停止)
- 10:00 福島第一原子力発電所 4号機東京電力コンクリートポンプ車による放水(約 130トン)実施(～13:02)放水前後の放射線量(211.49 224.1 μ Sv/h)
- 11:00 福島第一原子力発電所 3号機東京電力(冷却材浄化系)による海水注水(約 35トン)実施(～13:20)
- 16:20 福島第一原子力発電所 3号機黒煙が噴出(煙が止んでいることを東京電力社員が 23:30 頃確認)
- 17:24 福島第一原子力発電所 5号機仮設電源より本設電源へ切り替えた際、残留熱除去系海水ポンプ自動停止(24日予備機に切替予定)

3月24日(木)

- 05:35 福島第一原子力発電所 3号機東京電力(冷却材浄化系)による使用済燃料プールへの海水注水開始
- 10:50 頃 福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋屋上屋根部から白いもや状の湯気が出ていることを確認
- 11:30 頃 福島第一原子力発電所 1号機中央制御室照明点灯
- 14:25 3号機のタービン建屋地下の高圧復水ポンプ電源盤付近の水(深さ 3～5cm 程度の模様)を測定したところ、200mSv を記録
- 14:36 福島第一原子力発電所 4号機東京電力コンクリートポンプ車による放水実施(～17:30)
- 15:37 外部電源から使用済燃料共用プールへ電源供給開始
- 16:35 福島第一原子力発電所 5号機故障した残留熱除去系海水ポンプを交換、運転開始
- 18:05 使用済燃料共用プール冷水ポンプ起動

3月25日(金)

- 06:05 福島第一原子力発電所 4号機東京電力消防車による注水実施
- 08:30 1号機南放水口付近で採取(同時刻)した海水について、核種分析の結果、I(ヨウ素)-131 に関し、炉規則告示濃度限度の約 1250 倍を検出(前日の数値の約 12 倍)
- 09:00 2号機の原子炉建屋内の水が大物搬入口から一般排水口に流れた跡(大物搬入口から一般排水口に流れたと思われる後はあるが、26日夜時点では流れていない)
- 10:30 2号機に関し、東京電力(冷却材浄化系)による使用済燃料プールへの海水の注水を実施(～12:19)
- 11:00 1、2、3号機の原子炉への注水について、海水から淡水(純水タンクを利用)への切り替え開始(現場に深い水たまりがある場合は禁止)
- 13:28 3号機に関し、緊急援助隊(川崎消防庁)の消防車による放水を実施(～16:00)
- 15:37 1号機の原子炉への淡水での注水を開始

- 15:38、15:47 6号機の代替の残留熱除去ポンプ2台を仮設電源から本設電源に切り替えて運転
- 18:02 3号機の原子炉への淡水での注水を開始
- 19:05 4号機に関し、東京電力(コンクリートポンプ車)による放水を実施(～22:07)
- 23:10 1号機に関し、タービン建屋1階にある水溜りから380万ベクレルの放射線量を検出
- *1号機タービン建屋地下溜まり水の測定結果
- Cl(塩素)-38 濃度: $1.6 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
- As(ヒ素)-74 濃度: $3.9 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$
- Y(イットリウム)-91 濃度: $5.2 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
- I(ヨウ素)-131 濃度: $2.1 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$
- Cs(セシウム)-134 濃度: $1.6 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$
- Cs(セシウム)-136 濃度: $1.7 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
- Cs(セシウム)-137 濃度: $1.8 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
- La(ランタン)-140 濃度: $3.4 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$

3月26日(土)

- 10:10 2号機の原子炉への淡水での注水を開始
- 14:30 1号機南放水口付近で採取(同時刻)した海水について、核種分析の結果、I(ヨウ素)-131に関し、炉規則告示濃度限度の約1850倍を検出(前日の数値の約1.5倍)
- 16:46 2号機中央制御室の照明が点灯

3月27日(日)

・全号機に関し、タービン建屋地下溜まり水の測定結果は、以下のとおり

【1号機溜まり水】(26日採取)

水表面線量率	60mSv/h
Co(コバルト)-56	検出限界未満
Co(コバルト)-58	検出限界未満
Co(コバルト)-60	検出限界未満
Mo(モリブデン)-99	検出限界未満
Tc(テクネチウム)-99m	検出限界未満
Ru(ルテチウム)-106	検出限界未満
Ag(銀)-108m	検出限界未満
Te(テルル)-129	検出限界未満
Te(テルル)-129m	検出限界未満
Te(テルル)-132	検出限界未満
I(ヨウ素)-131	濃度: $1.5 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$
I(ヨウ素)-132	検出限界未満
I(ヨウ素)-134	検出限界未満

Cs(セシウム)-134	濃度: $1.2 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$
Cs(セシウム)-136	濃度: $1.1 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
Cs(セシウム)-137	濃度: $1.3 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
Ba(バリウム)-140	検出限界未満
La(ランタン)-140	検出限界未満

【2号機溜まり水】(26日採取)

水表面線量率	>1,000mSv/h
Co(コバルト)-56	濃度: $1.6 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
Co(コバルト)-58	検出限界未満
Co(コバルト)-60	検出限界未満
Mo(モリブデン)-99	検出限界未満
Tc(テクネチウム)-99m	濃度: $8.7 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
Ru(ルテニウム)-106	検出限界未満
Ag(銀)-108m	濃度: $2.5 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
Te(テルル)-129	検出限界未満
Te(テルル)-129m	検出限界未満
Te(テルル)-132	検出限界未満
I(ヨウ素)-131	濃度: $1.3 \times 10^7 \text{Bq/cm}^3$
I(ヨウ素)-132	検出限界未満
I(ヨウ素)-134	濃度: 再評価中
Cs(セシウム)-134	濃度: $2.3 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$
Cs(セシウム)-136	濃度: $2.5 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$
Cs(セシウム)-137	濃度: $2.3 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
Ba(バリウム)-140	濃度: $4.9 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
La(ランタン)-140	濃度: $1.9 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$

【3号機溜まり水】(26日採取)

水表面線量率	750mSv/h
Co(コバルト)-56	検出限界未満
Co(コバルト)-58	検出限界未満
Co(コバルト)-60	濃度: $2.7 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$
Mo(モリブデン)-99	検出限界未満
Tc(テクネチウム)-99m	濃度: $2.2 \times 10^3 \text{Bq/cm}^3$
Ru(ルテニウム)-106	検出限界未満
Ag(銀)-108m	検出限界未満
Te(テルル)-129	検出限界未満
Te(テルル)-129m	検出限界未満
Te(テルル)-132	検出限界未満
I(ヨウ素)-131	濃度: $3.2 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$

I(ヨウ素)-132	検出限界未満
I(ヨウ素)-134	検出限界未満
Cs(セシウム)-134	濃度: $5.5 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
Cs(セシウム)-136	濃度: $6.5 \times 10^3 \text{Bq/cm}^3$
Cs(セシウム)-137	濃度: $5.6 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
Ba(バリウム)-140	濃度: $1.9 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
La(ランタン)-140	濃度: $3.1 \times 10^3 \text{Bq/cm}^3$

【4号機溜まり水】(26日採取)

水表面線量率	0.50mSv/h
Co(コバルト)-56	検出限界未満
Co(コバルト)-58	濃度: $2.7 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$
Co(コバルト)-60	検出限界未満
Mo(モリブデン)-99	濃度: $1.0 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$
Tc(テクネチウム)-99m	濃度: $6.5 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$
Ru(ルテニウム)-106	濃度: $3.3 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$
Ag(銀)-108m	検出限界未満
Te(テルル)-129	濃度: $2.6 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$
Te(テルル)-129m	濃度: $1.3 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$
Te(テルル)-132	濃度: $1.4 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$
I(ヨウ素)-131	濃度: $3.6 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$
I(ヨウ素)-132	濃度: $1.3 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$
I(ヨウ素)-134	検出限界未満
Cs(セシウム)-134	濃度: $3.1 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$
Cs(セシウム)-136	濃度: $3.7 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$
Cs(セシウム)-137	濃度: $3.2 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$
Ba(バリウム)-140	検出限界未満
La(ランタン)-140	濃度: $7.4 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$

07:30 現時点において、タービン建屋溜まり水の処理について

- ・1号機:復水器へ移送中
- ・2号機:復水器へ移送準備
- ・3、4号機:復水器へ移送検討中

12:34 3号機に関し、東京電力(コンクリートポンプ車)による放水(約100トン)を実施
(~14:36)

16:55 4号機に関し、東京電力(コンクリートポンプ車)による放水(約125トン)を実施
(~19:25)

(2)東京電力(株)福島第二原子力発電所

3月11日(金)

- 14:48 福島第二原子力発電所 1～4 号機は、地震発生により自動停止
17:35 原子力災害特別措置法第 10 条報告事象と判断(2F1 号機)
(原子炉冷却材漏えいの恐れがあることから)
18:33 原子力災害特別措置法第 10 条報告事象と判断(2F1、2、4 号機)
(残留熱除去機能が喪失したため)

3 月 12 日(土)

- 05:22 原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(2F1 号機)
(原子炉圧力抑制機能が喪失したため)
05:32 原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(2F2 号機)
(原子炉圧力抑制機能が喪失したため)
06:07 原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(2F4 号機)
(原子炉圧力抑制機能が喪失したため)
07:45 総理が、原子力災害特別措置法第 15 条第 3 項により、福島第二原子力発電所の半径 3km 圏内の住人に対する避難指示。半径 10km 圏内の住人に対する屋内退避指示。
12:15 福島第二原子力発電所 3 号機は冷温停止状態
17:39 総理が、福島第二原子力発電所から半径 10km 圏内の住人に対する避難指示

3 月 14 日(月)

- 10:15 福島第二原子力発電所 1 号機原子力災害特別措置法第 15 条規定から復帰
13:40 福島第二原子力発電所 1 号機冷温停止
14:20 福島第二原子力発電所 2 号機冷温停止
15:52 福島第二原子力発電所 2 号機原子力災害特別措置法第 15 条規定から復帰
21:58 福島第二原子力発電所原子力災害特別措置法第 10 条報告事象と判断(MP1)
(敷地境界放射線量上昇が発生したため。福島第一発電所の影響によるものと思われる。)

3 月 15 日(火)

- 00:00 福島第二原子力発電所原子力災害特別措置法第 10 条報告事象と判断(MP3)
(敷地境界放射線量上昇が発生したため。福島第一発電所の影響によるものと思われる。)
07:15 福島第二原子力発電所 4 号機冷温停止
福島第二原子力発電所 4 号機原子力災害特別措置法第 15 条規定から復帰

3 月 17 日(木)

- 00:00 福島第二原子力発電所 1,2,3,4 号機冷温停止中

3 月 18 日(金)

- 17:50 福島第一、第二原子力発電所事故について原子力安全・保安院がINES(国際原子力・放射線事象評価尺度)の暫定評価結果発表
・ 1,2, 4 号機:評価レベル 3(重大な異常事象)

3 月 21 日(月)

00:00 福島第二原子力発電所 1,2,3,4 号機冷温停止中

1号 原子炉水位: 10,696mm

2号 原子炉水位: 10,246mm

3号 原子炉水位: 7,596mm

4号 原子炉水位: 8,596mm

3月22日(火)

00:00 福島第二原子力発電所 1,2,3,4 号機冷温停止中

1号 原子炉水位: 8,146mm

2号 原子炉水位: 10,246mm

3号 原子炉水位: 7,396mm

4号 原子炉水位: 8,096mm

3月24日(木)

00:00 福島第二原子力発電所 1,2,3,4 号機冷温停止中

1号 原子炉水位: 9,196mm

2号 原子炉水位: 10,296mm

3号 原子炉水位: 7,596mm

4号 原子炉水位: 8,796mm

(3)東北電力(株)女川原子力発電所

3月11日(金)

14:46 1~3号機は、地震発生により自動停止

1号機は外部電源喪失により非常用DG起動(起動変圧器故障)

2,3号機は外部電源から受電中

2号機は原子炉起動直後で原子炉の温度は100°C未満の冷温停止状態

15:30 1号機タービン建屋地下1Fから発煙を発見、消火活動開始

17:15 二酸化炭素消化装置による消火を開始

22:55 消火を確認(高圧電源盤からの発煙であったことを確認)

3月12日(土)

0:58 1号機は原子炉の温度は100°C未満の冷温停止状態

1:17 3号機は原子炉の温度は100°C未満の冷温停止状態

(22:00 報による; 1号機は起動変圧器復旧により外部電源からの受電開始)

3月13日(日)

12:50 原子力災害特別措置法第10条通報の実施

(女川原子力発電所からの放出によるものではないが、発電所敷地境界の放射線量が通報基準値(5 μ Sv/h)を超えたため10条通報、一時的に最大21 μ Sv/h)

(4)東北電力(株)東通原子力発電所

3月11日(金)

14:46 定期検査のため停止中だったが、外部電源喪失により非常用ディーゼル発電機起動、受電中。

23:59 外部電源からの受電開始

(5) 日本原電(株)東海第二原子力発電所

3月11日(金)

14:46 東海第二原子力発電所は、地震発生により自動停止

18:30 現在の情報

外部電源喪失により非常用DG起動。RCICにて水位確保。水位L2到達によりHPCS起動、現在L8。

3月13日(日)

20:00 現在の状況

19:37 に外部予備電源が復旧したことを受け、所内電源への切り替え作業を実施中。

3月15日(火)

00:40 東海第二原子力発電所は、冷温停止状態。

10:00 現在の状況

外部予備電源から受電中。原子炉の圧力、水位とも安定。
外部への放射能の影響はなし。

以上